

水谷 規男

高等司法研究科・教授

【研究】

2014年度は、2014年7月に答申が出された法制審議会の「新時代の刑事司法制度特別部会」の議論状況や答申内容をめぐって論文執筆、シンポジウムでの報告、特別部会員との対談の公表などの活動を行った。また、2013年度に引き続き、司法取引に関する4年間の科研費による共同研究の成果を学会における共同研究の形で公表した。

【教育】

2014年度は、高等司法研究科の「刑事訴訟法応用」(3クラス)、「少年法」の一部を担当した他、実務科目(模擬裁判刑事及び裁判実務基礎刑事)の取りまとめ役を務めた。法学部では前年度に引き続き「特別講義(犯罪者処遇法)」を担当し、授業の一環として加古川刑務所の参観を行った。刑務所参観については、参加した学生に感想レポートの提出を求めたが、受刑者処遇一端を知ることができたことに関して高い評価を得た。

【管理運営】

研究科内では、教務委員長を務めた。また、研究科の運営委員として、法科大学院に対する公的支援の見直しに伴う加算の取組みに関して、「法曹の継続教育」の観点から検討を行い、加算の獲得に貢献することができた。

【社会貢献】

刑事司法の在り方について、市民向け及び弁護士向けに研究成果を発信することに努めた。